森林の様々な働き

日本は国土の約7割が森林におおわれており、「森の国」と言えます。これらの森林には、さまざまな働き（多面的機能）があり、私たち人間の役に立っています。

森林の多面的機能

まず、森林に生えている樹木を切れば、家を建てる木材や紙の原料（パルプ）になります。樹木は大きくなる過程で、地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収するので、温暖化を抑えることにも役立っています。

また、森林は降ってきた雨をいったん土の中に蓄えて、それをゆっくりと川に流すことで洪水になるのを抑えたり、水をきれいにしたりする働きがあります。樹木の根は地中深くまで入って土をしっかりつかむため、土砂くずれなどの災害を防ぐ働きもあります。

森林があることでさまざまな生き物のすみかとなり、豊かな生き物をはぐくむ（生物多様性）働きもあります。他にも、釣りや登山、キャンプといったレクリエーションの場としての働きもあります。

森林にがんばってもらうには

このようなさまざまな働きのうち、お金に換算できる働きを足し合わせると、1年間に約70兆円にもなると言われています。

このように、森林にはさまざまな働きがあり、私たちの役に立っています。将来にわたって、これらの働きが維持されるようにするためには、森林を適切に管理していくことが必要です。